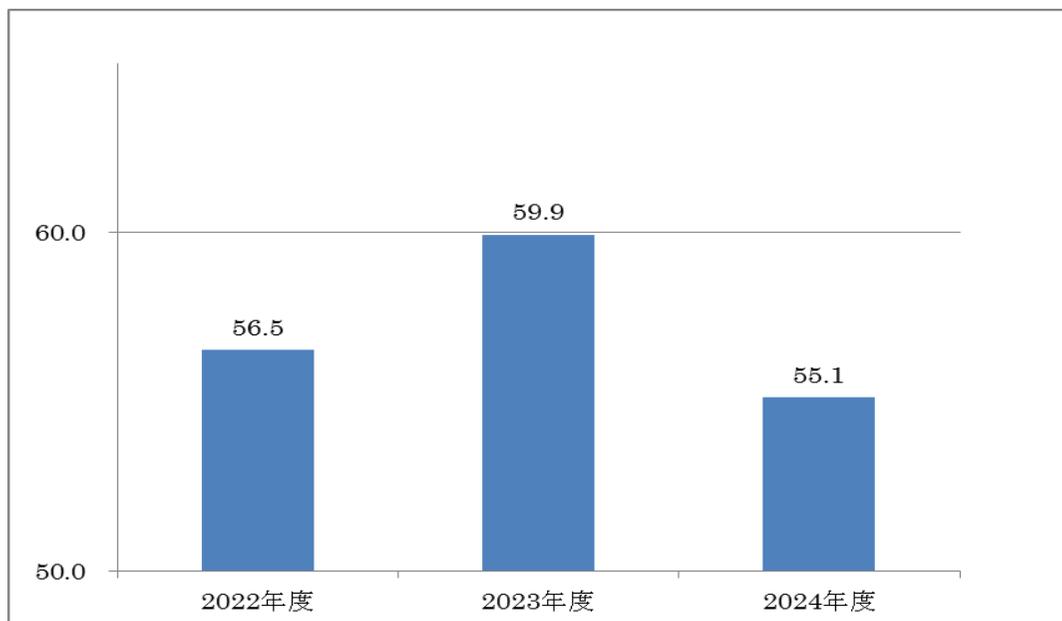


(7) 100床当たりのインシデント・アクシデント発生件数

【指標の説明】

・医療や看護の分野では常に、インシデント・アクシデントが発生する危険があります。実際には影響はなかったものの、患者さんに影響を与えかねない事象を「インシデント」といいます。一方、実際に事件・事故が起きて被害・損害が生じている状況を「アクシデント」といいます。アクシデントの手前の状況がインシデントです。インシデント・アクシデントの発生をできる限り防ぐことは、医療安全の基本です。仮に、インシデント・アクシデントが生じてしまった場合、原因を調査し防止策をとることが求められます。そのためには、インシデント・アクシデントをきちんと報告することが必要です。当院では新システムを導入し、迅速かつ簡便に報告をおこなうことができる体制を構築しています。本指標では、100床あたりの発生件数で算出していますので、実際の発生件数とは解釈が異なります。



【定義】

調査期間中の月毎のインシデント・アクシデント発生件数の合計

許可病床数(一般病床) × 12カ月

× 100(床)

・グラフの単位：(件)